



2018年4月、診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等の報酬のトリプル改訂があり、地域における医療・介護・福祉の連携強化、地域包括ケアシステムの構築が推進と慌ただしい年度の幕開けとなりました。

また、平成30年9月6日未明に発生した北海道胆振東地震では、41人の尊い命が奪われ、道内全域が停電となりライフラインや物流、情報が制限されるなど甚大な被害を受けました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。会員の皆様には、余震の影響で研修会を中止するなど、大変ご迷惑をお掛けしました。

今年度の支部活動は、5月の『ふれあい看護体験』を皮切りに、5月12日(土)には『看護の日』の広報活動をウイングベイ小樽にて開催いたしました。ふれあい看護体験には、例年の倍以上の111名の高校生より応募をいただき、看護の仕事に触れていただく機会となりました。看護師体験をした参加者の感想文と体験風景を掲載させていただきます。協力をいただきました各施設の皆様には、心よりお礼申し上げます。

「ふれあい看護体験」 小樽潮陵高校 上 菜里有

私は、今回「ふれあい看護体験」を通して、患者さんに合わせて声の大きさや速さを変えながら、上手にコミュニケーションをとることに加えて、患者さんの気持ちや、してほしいことを自分たちから考えて動くことの大切さや大変さを実感しました。

また、院内を見学させていただいた際には、管理栄養士など患者さんからは見えないところで働いている人もたくさん居ました。それぞれの役割を果たしながら、連携して患者さんを支えているということがわかりました。

今回の体験を通して、私も将来身近なところで患者さんと向き合うからこそ喜んでいる顔をみれたりする、大変ですがやりがいがある看護師という職業に就くことができるように今、できる事から頑張ろうと強く感じました。貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

ミニ看護師さん



一日看護体験辞令交付式



手浴体験



当支部では、地域ネットワーク強化と構築のため「看護の動向」「看護職の役割拡大」としての会員懇談会を企画しました。日々変化する医療に対応できるよう「地域の人が専門職に求めているものは何か」「専門職として病院の枠を超えてできる事は何か」について討議を行い、役割を理解することで連携を強化していくよう取り組んでいきたいと考えました。

また、市民の皆さまにも看護の仕事を知って頂くために、「看護の日」のイベントの企画や「後志いきいき健康祭り」への協賛をしております。9月発行予定が、遅くなり申し訳ございませんでした。